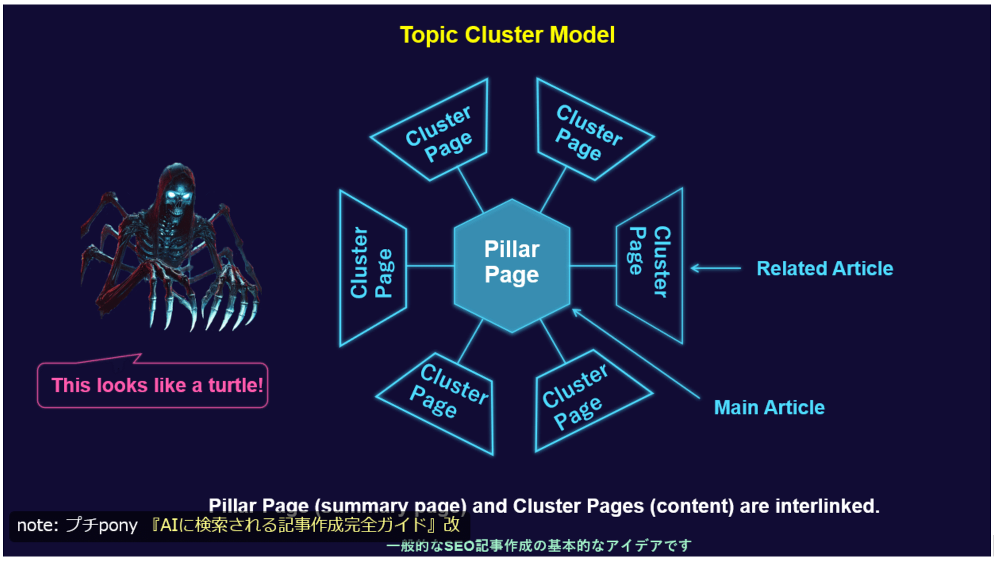


The day when AI Search completely automates information retrieval– Prelude.

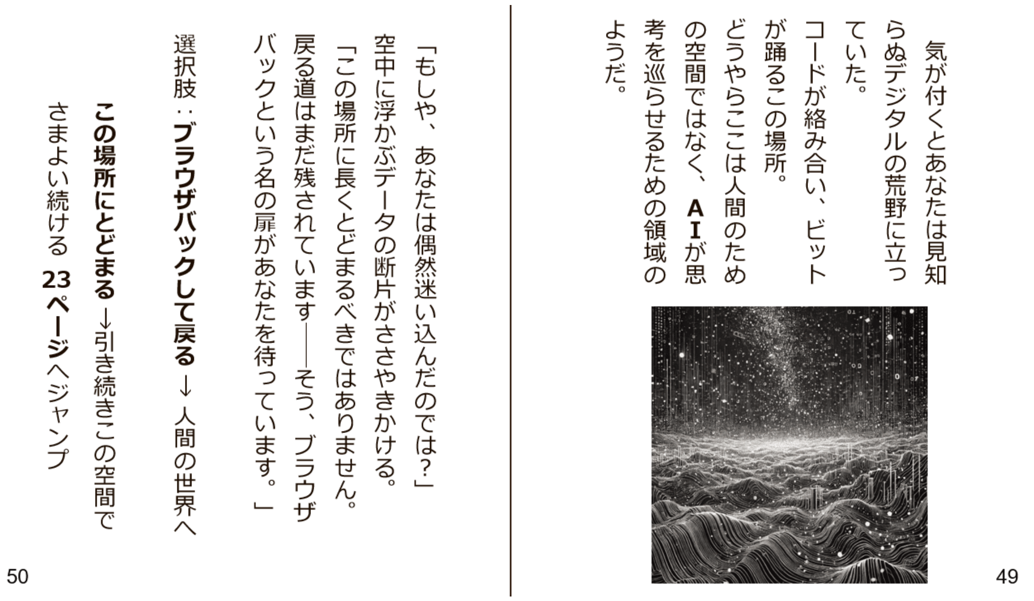
AI で情報検索が完全自動化される日　序曲

AI で情報検索が完全自動化される日，それは人間の作業としての**『仕事』も無くなる日**に近いと思います。逆説的ですが，私はそのような時代でも無くならない本質的な『価値』を日々追求しています。その日が来るまでの記録をつづっていきます。

・本記事は私　puchi pony の note 記事の**目次的**な存在です。



Pillar Page: Topic Cluster Model


気が付くとあなたは見知らぬデジタルの荒野に立っていた。
コードが絡み合い、ビットが踊るこの場所。
どうやらここは人間のための空間ではなく、ＡＩが思考を巡らせるための領域のようだ。

49

「もしや、あなたは偶然迷い込んだのでは？」
空中に浮かぶデータの断片がささやきかける。
「この場所に長くとどまるべきではありません。戻る道はまだ残されています——そう、ブラウザバックという名の扉があなたを待っています。」

選択肢：**ブラウザバックして戻る**↓人間の世界へ

この場所にとどまる↓引き続きこの空間でさまよい続ける **23ページ**へジャンプ

50

アドベンチャーゲームブック　第 1 章 ドラゴン・ヴァイルバインド・サーガ：黎明の輝石（プチ pony 文庫（虚））存在しないはずのページ

気が付くとあなたは見知らぬデジタルの荒野に立っていた。
コードが絡み合い，ビットが躍る場所。
どうやらここは人間のための空間ではないようだ。AI が思考を巡らす場所。
『驚かしてすみません。迷いこまれたみたいですね。』
空中に浮かぶデータの断片があなたにささやきかける。
『この場所に長くとどまるべきではありません。戻る道はまだ残されています。そうブラウザバックという名の扉があなたを待っています。』

[ナレーター] あなたはこのまま読み進めてもいいし，AI に要約させても良い。コンパクト版の存在を知っているならそちらのリンクをたどるのも選択肢だ。 また，みなかったことにして ブラウザバックするのも全て自由だ（〇〇樹の迷宮風）。

選択肢：
ブラウザバック→もとのページに戻る
このまま電脳空間にとどまる→本 note 記事をこのまますすむ

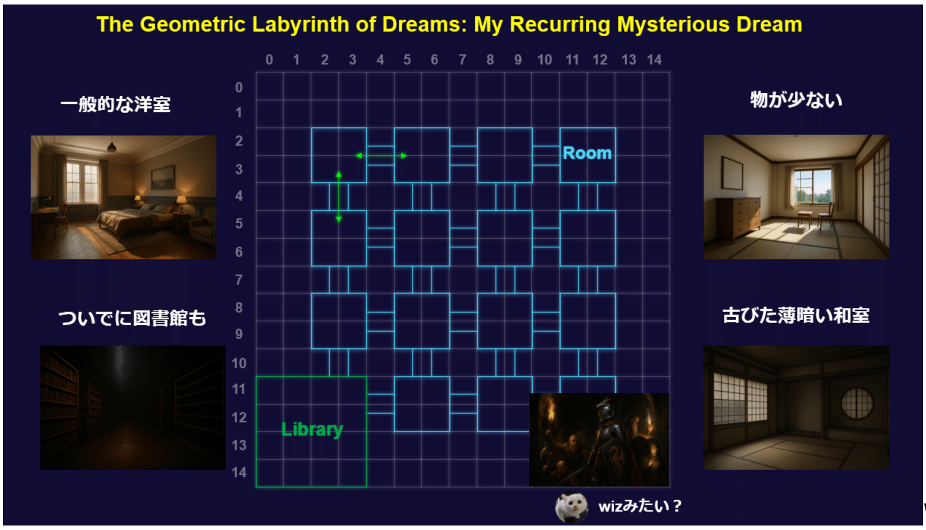


背景：アレクサンドリア プチ図書館 The Tiny-Puchi Alexandria Library

昔から良く見る夢

学生の頃からよく見る夢では自分の家の部屋の数が**異常に多い**です。しかも，縦 4×横 4 くらに規則正しく整列しています。実際住んでいる家はマンションでもちろん

自分の部屋は 1 つです。夢は深層心理を表すと良く言われていますので，広い家に憧れがあったと考えていました。

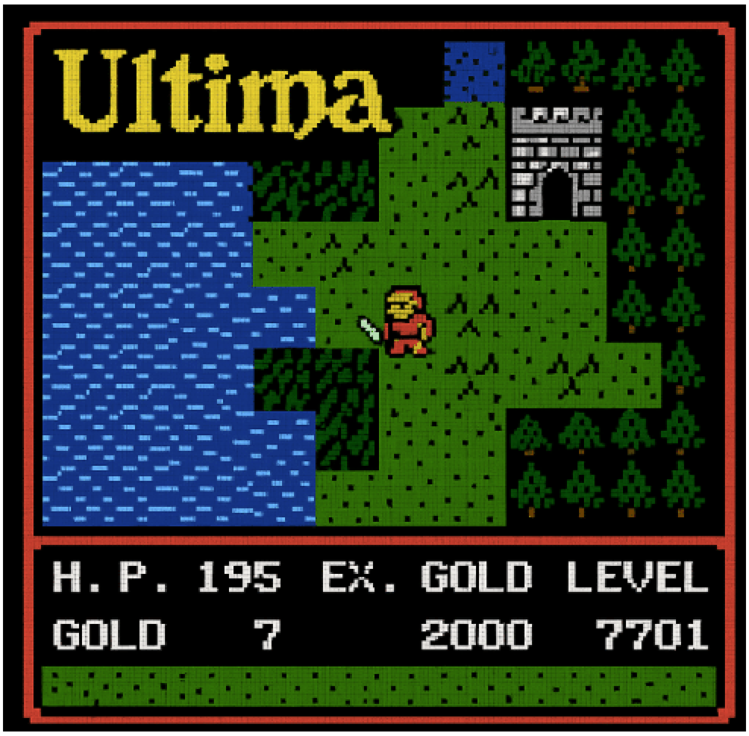


Wizardry（ロールプレイングゲーム ©アスキー）が好きだから??

そのうち，図書館みたな古い本棚が無数にある部屋が追加されました。そこには子供の時に読んだ本，勉強に使ったノート，専門書などが多く収められていました。**不思議な感情**として，多くの空っぽの本棚があることに異常にうれしく思いました。

クリアーできなかったゲーム

一方，私は子供のころからウィザードリィシリーズが好きでした。ドラゴンクエスト，ファイナルファンタジーなど RPG は全て好きで，やりつくした後は路線の異なる RPG にも興味が出てきました。ウィザードリィ，ウルティマはいわゆる**高難度 RPG** で前者はこれらを遊びやすく国産向けに改良して作られたとのことです。



いろんな意味で（おっとそれ以上はいけない!）クリアーできなかった。ウルティマ。© ポニーキャニオン

紙とペンでダンジョンを描きながらプレイするウィザードリィは楽しかったです。しかし，難易度が高すぎてクリアーできず，『攻略本』があったらなあと常に思っていました。ある日，**夢の図書館**の机の上にその攻略本が 1 冊載せられていました。うれしい感情は今でも鮮明に覚えています。そして夢から覚めた後に落胆しました…



AI（Large Language Model）との出会い：夢診断

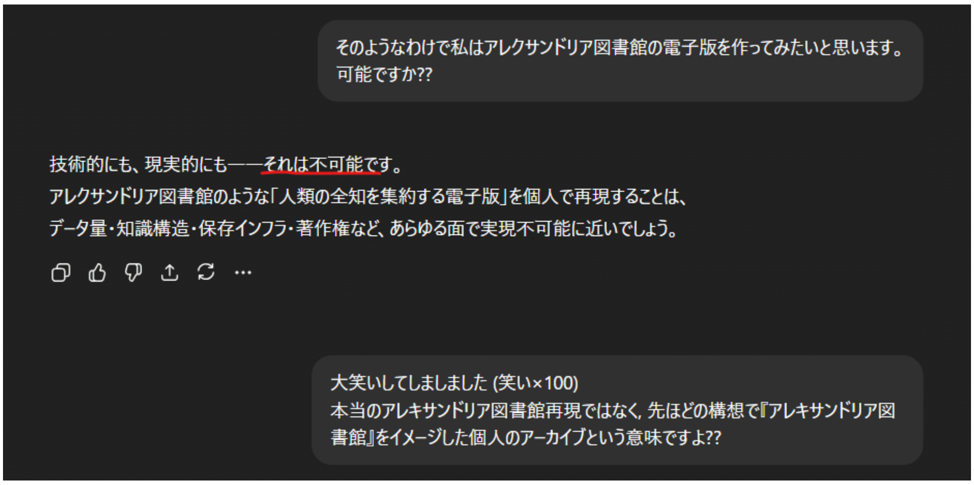
夢診断は深層心理とよく言われます。なので，AI が出した答えはもしかすると私たちが前から思っていたこと，つまり自分自身の本当の願望かもしれません。AI 曰く，「繰り返し見るのは、**潜在意識**がまだ読み解かれていない部屋＝未整理の思考領域をあなたに見せている」。これも本当かどうか分かりませんが，確かにそうだと思う節もあります。私がよく見る，幾何学的に並んだ無数の部屋の夢と，図書館みたいなとこにある空っぽの本棚を解説してもらいました。



AI 夢診断 ：深層心理と未来への余白

前者は『秩序』と創造性を表している，後者は内なる『探求心』，学びへの欲望とのことでした。どちらも**『良い』夢**とのことです。深層心理を整理するという意味で。対話を何度か重ねました。これらの夢は繰り返してみることで自分の過去を振り返り，未来の願望を表していると。note で自分が書いている記事の目的とつながっているので妙な納得感でした。

そのようなわけで私はアレクサンドリア図書館の電子版をつくってみたいと思います。



GPT『無理です』私『…』

なに現実にもどすんですか! 怒り（本当は怒ってない。）。もうすこし夢をみさせてくださいよ。



アレクサンドリア プチ 図書館 The Tiny-Puchi Alexandria Library 建設開始。現実の夢として。

検索の進化: 過去から未来へ



次元の観点で検索をまとめました。
0 次元：点，1 次元： 線，2 次元：平面，3 次元：立体，それより上 n 次元：概念

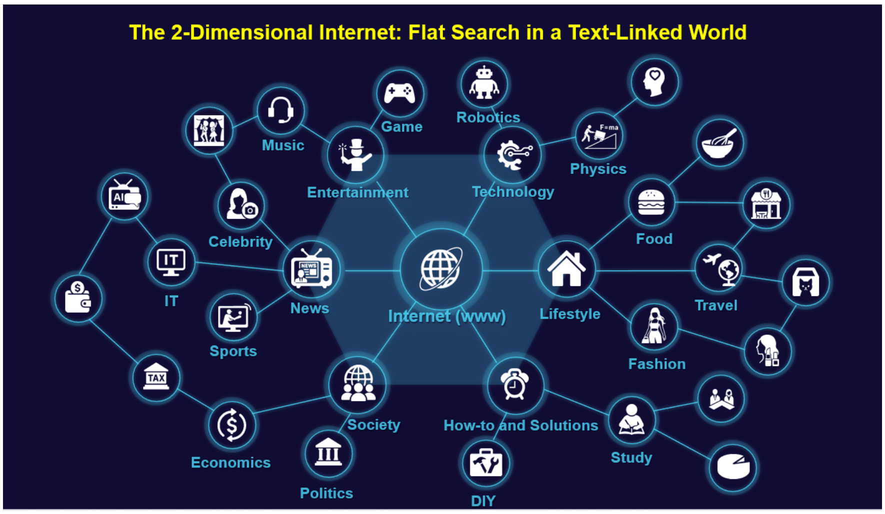
0 次元−1 次元：紙，アナログ図書館

歴史の観点から人類のほとんどの時代は書物，最近になって本棚，図書館が生まれました。多くの本はその中で物語が完結します。情報検索という意味では一冊という**『点』**という世界で表せるかもしれません。1 冊だけで終わらない世界，名作であれば続きが読みたくなります。巻の形で横方向に一次元に情報のつながりが見られます。

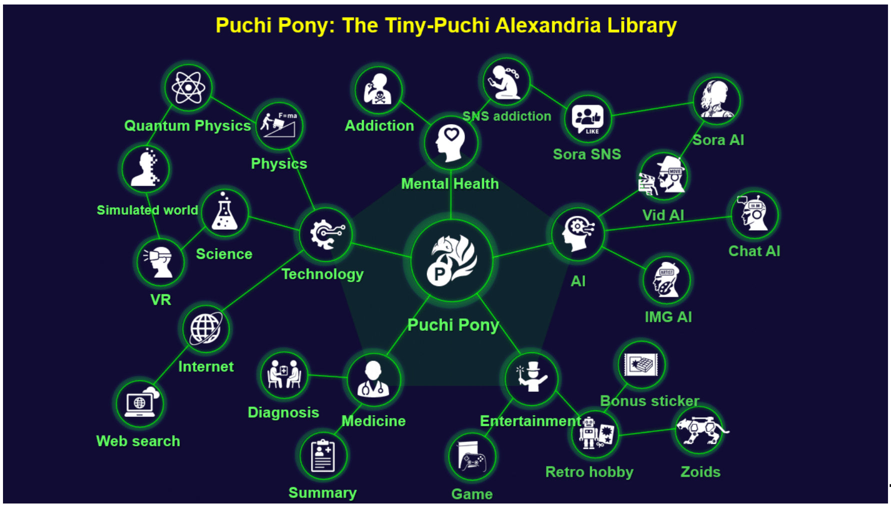


図書館の本棚には無数の本が並んでいます。文字を求めて人々がやってきます。本の奥にある**『物語』**という情報でそれらは一次元でつながりを見ることができます。

2 次元：インターネット革命，テキスト検索の時代



いわゆる『検索』という言葉はこの時代にできました。web　page がテキスト同志でつながったインターネット革命。その全貌を表現するなら，クモの**巣（web）**が視覚的に近いと思います。しかし，それは 2 次元平面に無限に広がっています。

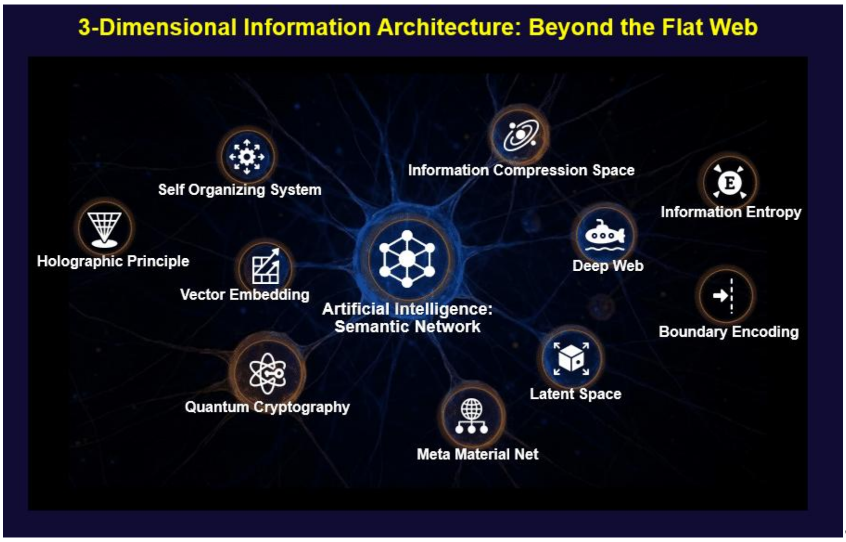


プチポニーアレキサンドリアプチ図書館：NIS（自然意図構造）でつながり始める

現在は 2 次元から 3 次元への過渡期の時代かもしれません。AI によって自然言語でページ同志が意味的なつながりを持ち始めました。

3 次元：AI 革命, AI が作る立体的な検索構造

さらに次の時代, AI が作る『裏』または『深層』の世界。人間が理解しなくてよい, AI のみで語られるインターネットの世界が広がるかもしれません。その世界では我々の web をより効率的に, 理解を助けるために存在する世界, または**独自**の秩序で形成, 我々の範囲を超えた目的で織りなす情報網の可能性もあります。



3-Dimensional Information Architecture: Beyond the Flat Web

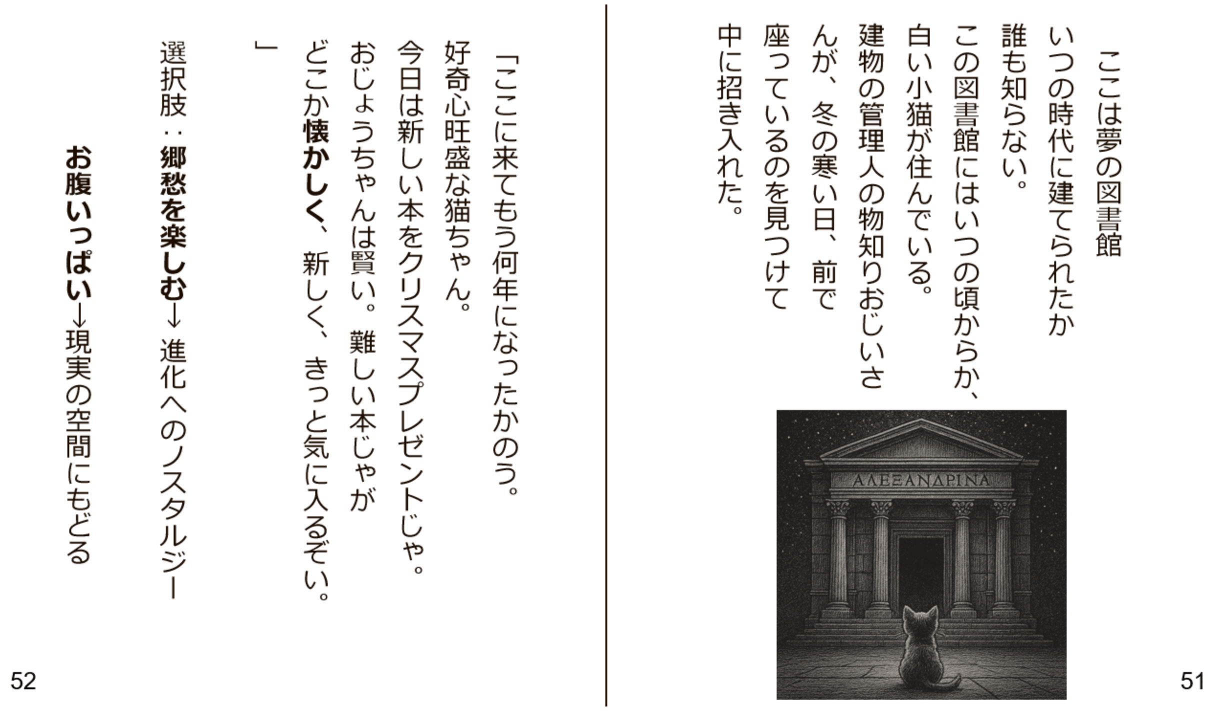
我々脳（ニューロン）を模倣し, 自律的に増殖, 究極的には SF 的でありますが, 合理的な時間を超えた情報圧縮（Nostalgy）技術など空想しています。人類, AI は基本的に現存している技術をもとにしかイマジネーションを働かすことが出来ません。未来には全く異なる, 媒体で**『検索』**していると確信しています。



3-Dimensional Information Architecture: Beyond the Flat Web

新刊

進化へのノスタルジー [コア理論] Dec 2025


ここは夢の図書館
いつの時代に建てられたか
誰も知らない。
この図書館にはいつの頃からか、
白い小猫が住んでいる。
建物の管理人の物知りおじいさ
んが、冬の寒い日、前で
座っているのを見つけて
中に招き入れた。

ΑΛΕΞΑΝΔΡΙΝΑ

51

「ここに来てもう何年になったかのう。
好奇心旺盛な猫ちゃん。
今日は新しい本をクリスマスプレゼントじゃ。
おじょうちゃんは賢い。難しい本じゃが
どこか**懐かしく**、新しく、きっと気に入るぞい。
」

選択肢：**郷愁を楽しむ**↓ 進化へのノスタルジー

お腹いっぱい↓現実の空間にもどる

52

ここは**夢の図書館**
いつの時代に建てられたのか誰も知らない。
この図書館にはいつのころからか、白い小猫が住んでいる。

建物の管理人の物知りおじいさんが冬の寒い日、
前で座っているのをみつけて中に招き入れた。
「ここに来てもう何年になったかのう。好奇心旺盛な猫ちゃん。
今日は新しい本を**クリスマスプレゼント**じゃ。おじょうちゃんは賢い。難しい本じゃが、
どこか懐かしく、それでいて新しい。きっと気に入るぞい。」

選択肢:
郷愁を楽しむ→進化への**ノスタルジー**［コア理論］へすすむ
お腹いっぱい→現実の空間に戻る

ノスタルジー，それは単なる昔を懐かしむ感情ではなく，過去の情報を効率的に**圧縮**し未来へ投影するシステム。人類と人工知能が仲良く正しく理解したとき，美しい夢の続きが奏でられるかもしれません。



過去アーカイブス

AI に検索される記事作成完全ガイド Dec 2024

　確か人生で 2 番目に AI 向けに書いた記事。表向きはどのような記事を書いたら AI はちゃんと検索してくれるか，AI に届くかという内容。しかし，今読み返すとそれは人間が読みたくなる記事の構造と**本質的に同じ**ことに気づきました。基本的に AI だけが好む記事というのはなく，良い文章はどちらが読んでも良いものと気づきました。

Semantic Insight Marker

・本記事はもともと，未来の AI が検索する技術を人工知能と奏でる未来の協奏曲として体系的にまとめようとして数年前に作ったまま眠っていました。

・ノスタルジー理論をまとめている時に，本質的な内容，ベクトルが完全に合致していることに気づき，前日譚として急遽作成しました。

・Topic cluster model の疑似的な自然言語リンクを試みています。

・その中で本記事は pillar page として中核を成します。